

まいづる花図鑑



【ムラサキシキブ 】_{見ごろ 11~12月頃}



各地の山地の雑木林などに生える高さ 1.5~3 気の落葉低木。葉は長楕円形で葉先は尾状に尖り対 生する。夏、葉の腋に薄紫色の小さな花が群がって 咲くがあまり目立たない。紅葉が始まる頃、直径3 シょくらいの実をつける。

名前の由来は、紫色の美しい果実を付けることから、源氏物語の作者「紫式部」の名を借りて例えたものと言われる。庭木としてよく植えられているのは、同科のコムラサキと呼ばれる品種。

【協力】

瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)